

平成28年10月26日

保護者の皆様

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

京都市立桂坂小学校



4月19日に、本校6年生児童136名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。本調査は国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

国語AB、算数ABともに昨年度に引き続き全国平均を上回りました。その中で、特に算数Bにおいては全国平均を10ポイント近く上回り、他の教科よりもさらにより結果が見られました。また国語AB、算数ABともに領域別、観点別、問題形式別にみてもすべてにおいて全国平均を上回るという結果が見られ、学力の定着も安定していると考えられます。

国語科より

国語科は全体的によくできています。国語Aでは漢字の読み書きの問題、国語Bでは目的や意図に応じてグラフを基に自分の考えを書く問題、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にしながら読む問題において全国平均を10ポイント以上上回っています。これは国語科をはじめ各教科学習において自分の考えを明確にして話し合い活動に取り組んでいる成果の表れだと考えられます。ただし、ローマ字を書く問題（りんご・あさって）の正答率が全国平均よりも低くなっています。授業では3年生のみで学習するため、他学年においても定着を図る取組を進めていかなければいけないと考えます。



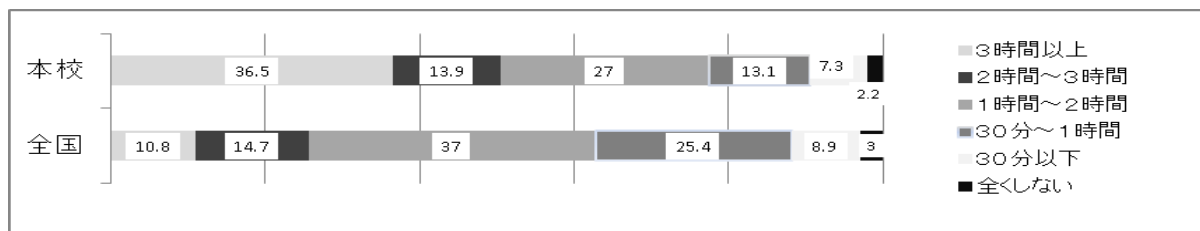
算数科より

算数科はABほとんどの問題、すべての領域において全国平均を上回っています。特に算数Aについては「図形」「数量関係」の2領域で、算数Bについては「数と計算」「数量関係」の2領域で全国平均を10ポイント以上上回っています。この結果は算数の授業や毎日の帯学習、家庭学習等を通して基礎基本の定着を図ることが出来ているため考えられます。唯一全国平均を下回った問題が、「角の大きさを基に四角形を並べてできる図形を選ぶ」問題でした。また、「角の大きさを基に式の意味の説明を記述する」問題も正答率が低く「数学的な考え方」の領域で課題が見られました。

児童質問調査から

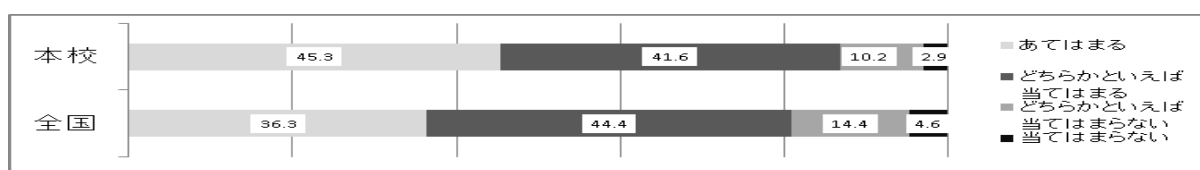
Q 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか？

（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

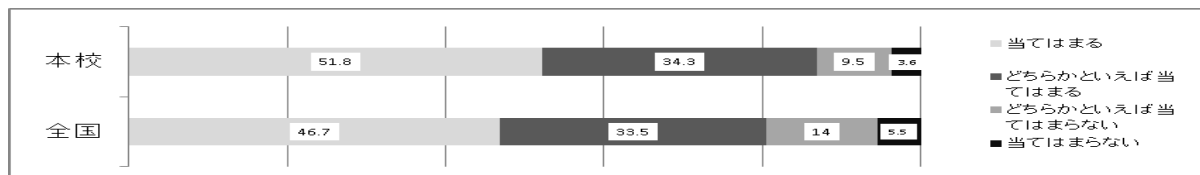


学校の授業以外の学習時間が全国平均より大きく上回っています。ご家庭での支援等によって家庭学習が定着している良好な実態がうかがえます。

Q 国語の授業の内容はよくわかりますか？



Q 算数の授業の内容はよくわかりますか？



「国語・算数の授業内容はよくわかりますか」という質問で「当てはまる」が全国平均を上回っています。各教科において子どもたち一人一人が「分かる授業・できる授業」となるように工夫して取り組んでいる結果だと思われます。

全体を通した本校の成果と課題

本校では「人とよりよくかかわり、楽しくまなぶ桂坂の子」という学校目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て教育活動に取り組んでいます。学力向上に向けては、日々の授業の充実を最優先とし、明確な「めあて」を提示することで、児童が意欲的に学習に向かえる授業の改善に取り組んでいます。また、「めあて」に沿った「振り返り」をすることで、児童が自らの“学び”を実感できるようにすることも大切にしています。さらに、友だちとの学び合いによる学習の深まりを目指すことで、“情報を整理する力”や“話の要点をつかむ力”等もさらに伸ばすことができると考えます。さらなる向上を目指して、取り組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。今回の結果をふまえ、全体や個々の課題をしっかりと見極め、ご家庭と連携を密にしながら学力向上に取り組んでいきたいと思ひます。今後ともご協力よろしくお願いいたひします。